

宇都宮市立豊郷中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

1. 学習について

○質問番号(17)から、勉強していて「不思議だな」「なぜだろう」と感じる割合がある割合が、市・県を6～8ポイント上回っている。質問番号(15)から、学校の宿題は自分のためになっていると感じる割合が、市・県をどちらも5.1ポイント上回っている。質問番号(24)から、学習に対して、自分から進んで取り組んでいると感じる割合が、市・県を4～5ポイント上回っている。質問番号(81)(83)(85)(88)(96)(102)(103)(106)(110)(111)(112)(113)から、社会・理科・英語・音楽・美術・総合的な学習の時間・学級活動についての肯定的な回答が、市・県を5～13ポイント上回っており、特に社会・理科では授業の内容がよく分かると感じている割合が、市・県を9～11ポイント上回っている。

●質問番号(16)勉強していておもしろい、楽しいと思うことがあるという項目では、市・県を2～5ポイント上回っているものの、成績上位層と下位層の差が大きい。質問番号(20)難しい問題にであうとよりやる気が出るという項目でも、市・県をどちらも3.5ポイント上回っているものの、成績上位層と下位層の差が大きい。質問番号(50)自分は勉強がよくできる方だと思うという項目では、市・県を5～6ポイント下回っており、成績上位層と下位層の差も大きい。質問番号(19)本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ているという項目と質問番号(18)疑問や不思議に思うことは分かるまで調べたいという項目、質問番号(5)家で、テストで間違えた問題について勉強をしているという項目では、成績上位層と下位層の差が大きい。

2. 学校生活について

○質問番号(53)から、難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると感じる割合が、市・県を6～8ポイント上回っている。質問番号(25)から、グループなどでの話し合いに自分から進んで参加していると感じる割合が、市・県を5ポイント上回っている。質問番号(57)から、誰に対しても思いやりの心を持って接しているという項目では、全体でも9割を超える肯定的な回答があり、市・県と比べても4ポイント程度上回っている。質問番号(58)自分の良さを人のために生かしたいと思うという項目と質問番号(59)自分がもっている能力を十分に発揮したいという項目、質問番号(23)毎日の生活が充実していると感じているという項目では、全体で9割近い肯定的な回答があり、市・県を2～3ポイント上回っている。

●質問番号(68)地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるという項目では、市・県を3～6ポイント上回っているものの、成績上位層と下位層の差が大きい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
① 生徒が主体的に学べる学習形態・学習過程・学習指導の工夫 ② 一人一授業による授業力向上の推進 ③ 「家庭学習の日」の推進 ④ 教室環境の整備及び掲示物の充実	① 教材研究による工夫 ② 授業公開期間の相互授業参観 ③ 部活動のない日(毎週水曜日)に家庭学習の習慣をつける ④ ユニバーサルデザインに配慮した教室環境整備と自己有用感や達成感に配慮した生徒作品等の掲示	「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」という質問に対する肯定的割合は36.9%であり、市の平均を3ポイント、県の平均を2.4ポイント下回った。「家で学校や塾の決められた宿題の他に自分で考えた勉強をしている」という質問に対する肯定的割合は70.8%であり、市の平均を9.4ポイント、県の平均を13.6ポイント上回った。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「授業で扱うノートに、学習目標とまとめを書いている」という質問に対する肯定的割合は、74.4%であり、市の平均を4.1ポイント、県の平均を9.3ポイント下回った。	学習課題の提示 授業の振り返りの実践	授業の中で学習課題を分かりやすく提示する工夫をする。授業の最後に、学習したことをまとめ振り返る活動を実践する。